

西部地域デジタルマップ冊子の配布とデジタル写真展の振り返り

西部地域デジタルマップ冊子の配布について

【配布先】：西部地域内の全世帯、小中学校、高校、公共施設など

【目的】：西部地域デジタルマップを認知させ、それに興味がある人や利用者を増やす

【配布してみたの効果】

- ・配られていても、その冊子を見たことがないという人がいた
- ・ユーザー登録を試みた人や、興味を持ったという声の特になかった

→効果は圧倒的に薄い

西部地域デジタル写真展について

【実施期間】：5月1日（日）～5月14日（土）の2週間

<*4月29日（金）の花桃イベントにて先行実施>

【目的】・写真の投稿をきっかけに、デジタルマップについて知ってもらい、西部地域に興味を持つ人を増やす

- ・西部地域デジタルマップ内の記事を増やし、情報発信に向けてサイト内を充実させる
- ・子ども目線の地域写真を増やす→主なターゲットは親子

【投稿件数】：34件（36件←企画のお知らせ記事と投稿手順を示した記事の2件含めて）

【先行実施の様子と実施してみて感じたことについて】

- ・直接参加して下さった方に声をかけてみたところ、西部地域デジタルマップの存在を知っていた人はいなかったが、声をかけた人のほとんどの人が投稿に参加してくれた
- ・投稿する中で、特に説明文で何を書いていいのか分からず、つまづく人がいた
 - 自分の説明の仕方も良くなかったが、例えば「説明文と書いてはあるが、投稿する写真の紹介文を書いてみよう」など、初めて投稿する人でも抵抗なく投稿できるように説明の仕方を工夫するべきだった
- ・親子参加の人に声をかけて投稿してもらったが、携帯を持っているのが親ということもあ

り、子ども目線の写真が集められなかった

- ➡・声をかける際に、子ども達にも写真を撮ってもらうように勧めれば良かった
- ・子ども自身が写真を撮って投稿できる機会やイベントを設ける

2つの企画を通じた課題

- ・配布しただけでは見る人も少ない➡・直接呼びかける
 - ・花桃イベントの中でデジタル写真展と一緒に実施したように、他のイベントで投稿の機会を設け、西部地域デジタルマップについて知ってもらい、投稿の面白さを知ってもらう
- ・冊子配布やデジタル写真展をきっかけに、ユーザー登録をした人はいなかった
- ➡西部地域デジタルマップをこれからのイベントなどの機会を利用してもっと宣伝し、認知度を上げていくことで、興味のある人を1人でも2人でも少しずつ増やしていく